

- ① … フェアプレー・規律委員会より 柴崎委員長に聞く「試合中文句を言わない!」への浸透状況
- ② … 「愛顔つなく えひめ国体」への出場は叶わず〜第72回国民体育大会関東ブロック大会結果
- ③ … 2017愛媛国体サッカー関東ブロック予選 総評 (公財)埼玉県サッカー協会 技術委員長 福田直史
- ④ … 全国で1勝。30年振りの全国挑戦を振り返る〜浦和西高校・市原雄心監督〜
- ⑤ … 全国で1勝。30年振りの全国挑戦を振り返る〜浦和西高校・市原雄心監督〜 (続き)
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種・女子・フットサル ●県外大会 1種・2種高校
- ⑦ … 大会記録●県外大会 2種高校・クラブ・3種中体連・4種
- ⑧ … 大会記録●県外大会 4種少女・女子・フットサル・シニア インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

フェアプレー・規律委員会より

9月26日、SFA事務所においてフェアプレー・規律委員会が開催されました。現在の課題について柴崎康之委員長に伺い、あわせて、各委員が感じているSFAの新しい行動規範「試合中文句を言わない!」への浸透状況について伺いました。

柴崎委員長に聞く

現在JFAは、三権分立を進め、「JFA規定の遵守と同時に選手・チームの権利を尊重する」施策を推し進めています。

埼玉県では、ある大会で「JFA懲罰規定に該当する内容」が「罰則規定」として、大会要項に記載されているケースがありましたが、最終的には大会要項の罰則規定を適用することなく対処していただくことになりました。

JFAは、すべて懲罰に関する事項は「該当の各規律委員会が、JFAの定める基準・手続きによって対応する」とし、その懲罰に不服な者(チーム)は、「所定の手続きにより、JFAに不服申し立てができる」と規定しています。

また、大会運営上必要な規定や申し合わせ事項が、懲罰規定に該当する内容であるかどうか不明瞭な事項については、具体的内容ごとに「フェアプレー・規律委員会」で検討し、必要に応じてJFAと意見交換することとしました。

現在SFAは、大会要項の確認を実施しています。フェアプレー・規律委員会としては、各種別のフェアプレー・規律委員長を中心に、「懲罰に該当する項目」が大会要項等に記載されていないかの確認を推進していきます。同時に、各選手・チーム・連盟・種別・大会運営組織それぞれの段階において、このことを理解し、対応していくようお願いいたします。

「フェアプレー・規律委員会」は、これらの規律・懲罰に関する事項に対処することと同時に、「フェアプレーの推進」が大きな使命です。今、SFAは「試合中文句を言わない!」キャンペーンを推進しています。フェアプレーの意識向上について、皆様のご協力をお願いしたいと思います。



「試合中文句を言わない!」の浸透状況

高橋勝行委員 (1種)

「残念ながら、試合会場でバナーを見ることがありません。社会人では県内で1部、2部、3部とリーグ戦を行っていますが、広めているというところでしょうか。」

あと、社会人連盟の皆さん、登録している選手の皆さんたちはあまりSFAのウェブサイトを見ていないようで、まだまだ浸透していないのが現状です」



高橋勝行委員

田中龍太郎委員 (2種)

「各校、教育現場ということもあり、上位リーグの会場では必ずバナーは掲げてあります。私の高校(大宮南)では常に掲出していますので、生徒たちには浸透していると思います。課題としては、支部リーグの会場では掲出していないということと、観客である保護者から辛辣な言葉があることから、生徒や指導者だけではなく、保護者にも見ってもらう必要があると感じていますので、もっと枚数をいただきたいと思っています。」



田中龍太郎委員

あと、生徒たちへの浸透の度合いとしては、対戦相手の監督さんが審判に対して文句を言っているのを見て『先生、あれでいいんですか?』と聞いてくることもあることから、刺激というか効果を感じているところです。バナーの掲出によって、視覚的な刺激は間違いなくあると思います」



柏 悦郎委員 (3種)

「年代的に生徒たちから審判や相手選手に対する“文句”というのは少ないと言えるので、各会場においては保護者にわかるように掲出しています。とにかく保護者とは限りませんが、観客席からの暴言を多く耳にします。

大会、試合を見ていると運営役員の皆さんが、試合中熱くなっている監督さんに対して、『文句を言わない』などと、声かけをしています。3種では指導者に対して効果が出ていると思います。試合会場にある電光掲示板にも出してほしいものです」



柏 悦郎委員

井部 衛委員 (4種)

「バナーを掲出することにより、多くの人に意識されていることは感じていますが、他種別に比べて圧倒的に関わる人が多いだけに、効果という面ではまだまだ見えてきていません。また即効性のあるものでもないです、長く続けていくことが大事だと思っています。

東島4種委員長は、様々な会議の冒頭の挨拶で伝えてくれていますし、先日は西部で坂庭専務理事によるフェアウェルオフィサー講習会を開催し、そういう中でも伝えてもらっています。

あと保護者への啓蒙の必要性を感じているところです。この4種の場面で文句を言う保護者が3種、2種と子どもと共に進んでいくことを考えると、急務ですね」



井部 衛委員

宮崎剛雄委員 (フットサル)

「会場が体育館ですので、野外とは違い狭いこともありますから、バナーは掲出しやすいですね。リーグのバナーと並列に掲示しています。

聞くと、多くの皆さんが『審判に対して文句を言うな』と思っていたようです。半年近くたち、選手同士がお互い文句を言わずにプレーに専念しよう、フェアプレーを心がけようという理解が広まっているところです。

実例としては、フットサルは接触プレーが多いことからか選手



宮崎剛雄委員

同士で言い合うことが多く、そういう場面で他の選手が言い合っている二人の肩を叩き、バナーを指さして促すということもありました」

渡辺典子委員 (女子)

「女子の全種別を見て回っているわけではありませんが、高校会場では掲出されているうれしく思っています。

これからのことですが、県内の大学では関東リーグも行っていることから試合会場に掲出して他県のチーム、選手へ発信してもらえるといいなと思っています。また同じく『めめまカップ』でも掲出したいと考えていますので、バナーの枚数をもう少しいただきたいと思っています」



渡辺典子委員

井橋光平委員 (学識)

「5月の会議で初めて知りましたが、そこでベタ褒めをしたことを覚えています。素晴らしいキャッチコピーだと。変にこじやれていないこと、スマートではないけれど本質を突いていることが素晴らしいのです。これはサッカーだけでなく、すべてのスポーツに、さらには社会生活全般につながることで、もっとバナーの枚数を増やしていくといいと思います。

それこそ、このキャッチコピーを埼玉から全国区にするくらいにしてほしいですね。ですから浦和レッズでも大宮アルディージャにも実践してほしいですし、それぞれのスタジアムでもっと大きなバナーを掲出してもらえるといいですね」



井橋光平委員

柴崎康之委員長

「これがフェアプレーの精神だと思います。皆さんと一緒に進めていけばいいなと思っています。ただ、このバナーを遠くから見ると、どこからの発信かわからないので『埼玉県サッカー協会』の文字を大きくしたいと思っています」



柴崎康之委員長

「愛顔つなぐ えひめ国体」への出場は叶わず

～第72回国民体育大会関東ブロック大会結果

8月11日から群馬県各地で開催された「第72回国民体育大会関東ブロック大会」において、残念ながら埼玉県選抜は3つのカテゴリーすべてで敗退となりました。福田技術委員長を中心に、今後課題の抽出と方向性の修正などが議論される予定です。順次、お知らせしていきます。

【結果】

●成年男子

1回戦 東京都 4-0 埼玉県
※ 本大会出場は、茨城県、群馬県、神奈川県



埼玉県成年男子

●女子

1回戦 群馬県 2-1 埼玉県
※ 本大会出場は神奈川県、千葉県、群馬県



埼玉県女子

●少年男子

1回戦 群馬県 4-0 埼玉県
代表決定戦 埼玉県 0-1 茨城県
※ 本大会出場は千葉県、群馬県、神奈川県、茨城県



埼玉県少年男子



少年男子 埼玉 vs 茨城



少年男子 埼玉 vs 群馬



女子 埼玉 vs 群馬

2017 愛媛国体サッカー関東ブロック予選 総評

(公財)埼玉県サッカー協会 技術委員長 福田 直史

技術委員長に就任して三年目。昨年、一昨年と女子のみ本大会出場と低迷していたにもかかわらず、今年は国体の歴史上初めて、3種別すべて予選で敗退するという結果となりました。私が現役のところは、毎年総合優勝を狙っていたことを思い返すと各種別で強化について再考しなければならないことは明らかです。時代は変わり、リーグ戦文化が浸透して国体に関して軽視する団体もありますが、日本代表に育っていく選手は国体経験も経ていく選手がほとんどです。「天井効果」とJFAも指導者養成で講習内容に入れているように、自分のチームだけでなく年代ごとに数多くの貴重な体験をさせることが大切です。埼玉県代表チームは年代別に常に全国のトップにいる中で選手を育てていただきたく、各チームとも埼玉県選抜に全面協力を願います。以下、関東ブロック大会の各種別に対する総評です。

●成年男子 (本大会出場は8都県中3チーム)

2年連続、県内大学リーグ選抜で臨みましたが、残念ながら実力不足。昨年の本大会視察で感じたことは関東大学リーグレベルもしくはJFLリーグレベルがなければ、本大会で優勝争いはできないということ。大学のトップチームが出場する、又はJFLチームを目指す社会人チームが補強して出場するということが急務です。

●女子 (本大会出場は8都県中3チーム)

本年度は日程的に困難で、浦和レッズレディース・レディースユースの協力が得られず、県内大学・高校生の選抜チームで臨みましたが力不足でした。昨年一昨年は浦和レッズレディース、レ

ィスユース中心のチームで、実力的には本大会ベスト4に入る力はあったと感じているので、ぜひ日程を調整して力になって欲しいと思っています。

●少年男子 U-16 (本大会出場は8都県中4チーム)

選抜しなかった選手が揃わなかったこと、戦い方が90分リーグ戦の戦い方で70分トーナメントの戦い方ができなかったこと、選手に大会に向けての覚悟(モチベーション)が足りなかったこと、指導者の経験・実績不足……ここ3年間とも同じようなことを感じざるを得ません。国体本大会に出場する関東チームを見ると、優勝が続き、またほぼベスト4に進出しているの、埼玉も本大会に出れば優勝も狙えるレベルとと思っているので、残念でなりません。

少年男子は、関東U-16・U-15トレセンリーグの結果で組み合わせが決まるので、U-15トレセンリーグから常に勝利が必要で、今後は育成から強化にシフトチェンジする年代を早くする必要があるので、指導者も「育成」スタッフから勝たせるための「強化」スタッフへの移行も必要なことなのか、などをここ数年感じています。選手個々のパフォーマンスを最大限生かしながら、大会に合わせた戦い方のできる経験豊富な指導者が必要かもしれません。

本年度、技術委員会の中に強化対策部会・選手育成部会・指導者養成部会を置き、組織を再編したので、このあと強化対策部会を開き今後の対策を早急に立ててまいります。

| 成年男子 | | | 女子 | | | 少年男子 | | |
|------|----------------|--------|-----|------------------|--------|------|--------------------|--------------|
| 監督 | 中山 智之 (尚美学園大学) | | 監督 | 堀 達也 (県立大宮武蔵野高校) | | 監督 | 為谷 洋介 (東京成徳大学深谷高校) | |
| 背番号 | 位置 | 名前 | 背番号 | 位置 | 名前 | 背番号 | 位置 | 名前 |
| 1 | GK | 渡部 悠己 | 1 | GK | 武田あすみ | 1 | GK | 久保 賢也 |
| 2 | DF | 根本 和輝 | 2 | DF | 古賀小百合 | 2 | DF | 古舘 陸大 |
| 3 | DF | 石橋 風毅 | 3 | DF | 綿貫 美穂 | 3 | DF | 苗加 慶太 |
| 4 | MF | 橋本 希望 | 4 | DF | 横地 秋音 | 4 | DF | 飯塚 瑛二 |
| 5 | MF | 斉藤 良太 | 5 | DF | 一川 美緒 | 5 | DF | 山中 惇希 |
| 6 | MF | 逢坂勇一朗 | 6 | MF | 新田 寿瑞 | 6 | MF | 丸山 聖陽 |
| 7 | MF | 荒田 楓河 | 7 | MF | 佐々木 葵 | 7 | MF | 木下 海斗 |
| 8 | MF | 加藤 勇司 | 8 | MF | 川越あきら | 8 | MF | 西谷 学 |
| 9 | FW | 種田 拓真 | 9 | FW | 西田ゆうこ | 9 | FW | 南雲 怜 |
| 10 | FW | 渡部 拓生 | 10 | MF | 山崎 萌子 | 10 | MF | 瀬良 俊太 |
| 11 | FW | 石田 寛人 | 11 | FW | 平川 英未 | 11 | FW | 高田 颯也 |
| 12 | GK | 五味 昇陽 | 12 | GK | 野田 真央 | 12 | GK | 石塚 悠汰 |
| 13 | DF | 荻原 脩作 | 13 | MF | 根岸 里歩 | 13 | MF | 波田野晟愛 |
| 14 | MF | 馬場 航 | 14 | MF | 中川真理子 | 14 | MF | 大和 海里 |
| 15 | DF | 中荒井利公 | 15 | MF | 加瀬田彩華 | 15 | MF | 早乙女勝海 |
| 16 | DF | 田中 輝由 | 16 | MF | 大沼 歩加 | 16 | MF | 伊藤 雄教 |
| | | 埼玉工業大学 | | | 南稜高校 | | | 大宮アルディージャユース |
| | | 獨協大学 | | | 尚美学園大学 | | | 三菱養和 SC |
| | | 城西大学 | | | 大東文化大学 | | | 東海大付属高輪台高校 |
| | | 獨協大学 | | | 東京国際大学 | | | 西武台高校 |
| | | 埼玉工業大学 | | | 大東文化大学 | | | 浦和レッズユース |
| | | 埼玉工業大学 | | | 東京国際大学 | | | 昌平高校 |
| | | 尚美学園大学 | | | 花咲徳栄高校 | | | 昌平高校 |
| | | 尚美学園大学 | | | 尚美学園大学 | | | 大宮アルディージャユース |
| | | 駿河台大学 | | | 南稜高校 | | | 大宮アルディージャユース |
| | | 埼玉工業大学 | | | 大東文化大学 | | | 大宮アルディージャユース |
| | | 城西大学 | | | 大東文化大学 | | | 大宮アルディージャユース |
| | | 獨協大学 | | | 尚美学園大学 | | | 浦和レッズユース |
| | | 尚美学園大学 | | | 花咲徳栄高校 | | | 正智深谷高校 |
| | | 獨協大学 | | | 南稜高校 | | | 昌平高校 |
| | | 城西大学 | | | 花咲徳栄高校 | | | 大宮アルディージャユース |
| | | 埼玉工業大学 | | | 花咲徳栄高校 | | | 昌平高校 |

全国で1勝。30年振りの全国挑戦を振り返る

～浦和西高校・市原雄心監督～

「こだわり過ぎていた」

— 遅くなりましたが、本大会出場おめでとうございます。そして、お疲れ様でした。

市原 ありがとうございます。試合直後、翌日などを合わせると100通以上のメールをいただきました。それだけ『すごいことをした』と思います。

出場が決まって、OB会で袖に“埼玉”と入ったユニフォームを作っていただきました。

本大会では一回戦は500人以上も応援に駆けつけていただき、相手は地元チームなのに、試合が終わった後にやっとスタンドを見たのですが、学校の協力もあり、ウチの応援のほうが多かったですね。駆けつけてくれたOBの皆さんに喜んでいただいたことは本当にうれしかったです。

— それでは、高校総体までのところの流れをお聞かせください。

市原 新人戦でベスト8に入り、関東大会予選でベスト4に入りました。これで次は高校総体だなと。また、このベスト4で昌平と対戦し1-5で敗れましたが、これで高校総体予選では別の“山”となるので決勝までは対戦しないことになりましたので、生徒たちに「次は、決勝戦で昌平とやろう」と言いましたし、自分に言い聞かせていました。

実際の高校総体予選においては、準決勝の西武台戦、これまでならば負け試合だったのを1-0と勝ち試合にできたことが大きかったですね。振り返れば僅差の試合が多いのですが、今年のチームは耐えることができる。我慢できる力を持っていること

がありました。そして、そういう力があるので、本来自分たちがやりたいサッカーを捨てて『勝負する』と割り切ったことが全てだったと思います。

— ここ数年の浦和西は「サッカーはいいんだけど……」という周囲からの声が多かったように思います。

市原 簡単に言えば、これまでは自分たちのスタイル——人もボールも動かしたい、主導権を握りたいということにこだわり過ぎていました。また入ってくれた生徒が『こういうサッカーをやりたい』と西高を選んでくれたので、こだわっていたのです。しかし、今年は高さもあり、セットプレーやパワープレーでも強さがあり、ドリブルの早い選手がいたりとそれぞれの個性を活かすことができる手応えを持っていました。それで高校総体に出場できたと思います。でも、リーグ戦では自分たちのスタイルにこだわってやっていますので、いわゆる“普通”になっていますが(苦笑)。

今回高校総体に出場することになって感じたのは、サッカーそのものが面白くなくても、勝つと気持ちいいなあということでした(笑)。ただ、本当に勝つことができるのであればいいのですが、それも限界がありますので、高さやスピードだけでは勝てません。10月からの高校選手権大会の県予選はベスト16からの出場となりますが、相手は2勝してくるのですから、簡単にはいかないでしょう。攻撃のパリエーションを増やさなければなりませんし、新しいメンバーを入れるなど活性化させていかなければなりません。



1回戦 浦和西 vs 東北学院



市原監督



1回戦 浦和西応援席

「埼玉のため、浦和のため」

— 選手権大会に向けては後ほどとして、高校総体に話を戻しますが、浦和西で高校総体という一昨年、OBの山口さん（豊氏）が西武文理を率いて出場しましたね。

市原 山口さんのご活躍は刺激になりましたね。ご本人の体験談もお聞きました。それだけに勝たなければと。今回の本大会でウチも第2代表でしたが、相手（東北学院）も第2代表。負けられないと思いましたし、最低限、相手はともかく一つは勝ちたいと思っていました。結果、勝ててよかったのですが、あと2つは勝ちたかったというのが本音です。ただ、全国制覇を狙っているチームとベスト8を狙っているチームの違いも痛感しました。

— 具体的には？

市原 “思い”でしょうか。ただ出場するのではなく、県を代表して埼玉のため、浦和のためにという思いと、先輩の野崎さん（正治氏・浦和南）からは『公立の代表として』とも言ってもらいました。今までと違いました。というのは、これまでは自分たちのため、西高のためということしか思っていませんでしたし、選手たちにも伝えていなかったなど。埼玉の代表になってそういう視野の違いを感じ、さらに全国大会の常連とはそもそも目指す目標、思いが違うことを感じました。

正直、これが自分にとっては最初で最後の全国大会だろうと思って臨みましたが、でも1勝できたことで周囲から『選手権はもっとすごいぞ』と声をかけられ、冬も行きたいという欲が出てきました。ぜひ昌平にリベンジして勝ち上がりたいと思っています。選手たちも『全国に出ないといけない』という気持ちになってくれています。

— なるほど。あと、強さの要因は高さ、速さだけではないと思います。

市原 そうですね、例えば生徒たちは集中力があります。また保護者を見ても、食育などの意識が高いというのもあります。様々な面から見て、全体的に一人ひとりのベースが高いですね。そういうことは認めた上で生徒たちには『勘違いするな』とは言い続けています（苦笑）。

— そして、本大会ですが。

市原 まず初戦ですが、試合前から雰囲気よかったので、ガチガチにならないよう思い切ってやろうと送り出しました。立ち上がりに相手のシュートが1本、怖いのがありましたが、前半を終えたところで0-0。シュート数では上回っていたので、後半になったらいけるだろうという手応えはありました。勝ってよかったです。

しかし2回戦の京都橘戦ですが、結果的には名前負けしてしまっただかなと思っています。前半15分でGKのキャッチミスを決められ、直後にも失点。正直、前半を0-0で折り返せればと思っていましたが、相手にスキはありませんでしたし、逆にちょっとしたミスを逃さないところが、“全国”のレベルだと思いました。



浦和西高校・市原雄心監督

結局は0-5で負けましたが、リベンジをするには選手権を勝ち上がらなければいけません。生徒たちも『もう一度やりたい』と言っていますし、私も勝たせてあげたいと思っています。

「凡事徹底」

— 西高に赴任されてからこれまでの歩みも試行錯誤だったと思います。

市原 OBとして、着任して10年目になりました。来たときは南部支部止まりでした。5年目で新人戦を準優勝できたときは、『ここから上へ行けるか』と思いましたが、うーん、甘かったですね（笑）。そうそう、今年の新人戦でベスト4に入った後、プレミアリーグを見に行くと大学の同期の浅岡（隆蔵氏。市立船橋高校監督）に『（相手と）蹴り合いになっているな』という話をしていたら『蹴っても繋いでも、結局は千葉県内では流経（流通経済大学柏）とどれだけ戦えるか。もっと早く気づけよ』と怒られました。強い相手に対して、スタイルにこだわらずやろうと思ったきっかけは、それもありましたね。

今はあれもやってみよう、これもやってみよう、少しは考え方がフレキシブルになったと思います。でも、自分たちとしては戻るところ、スタイルはあります。その上で野崎先生がよくおっしゃっている『ひたすら戦え』なのかなと。

今、どこに行っても声をかけていただき、気にしてもらっています。ありがたいことです。しかし、私としては凡事徹底していきたいと思っています。

— 最後に、選手権予選に向けての意気込みをお願いします。

市原 自分自身、納得した形で戦いたいと思っています。『あすればよかった』とかは言いたくないですね。そのためにも、高校総体に出場したからと言って受け身にならず、チャレンジしたいと思います。そして、京都橘にリベンジしたいですね。



2回戦 浦和西応援席



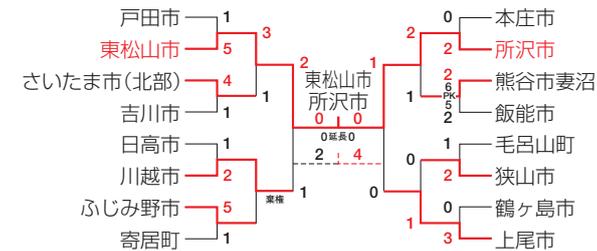
2回戦 浦和西 vs 京都橘

大会記録●県内大会

1種・社会人

2017年度埼玉県『県民総合体育大会』サッカーの部

7月30日～9月3日 県内各地



※優勝は東松山市と所沢市

女子

平成29年度高校女子サッカー埼玉県選手権大会

8月21日～9月20日 十文字大学サッカー場ほか

●決勝リーグ

| 順位 | チーム | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 差 |
|----|------|----|---|---|---|----|----|-----|
| 1 | 花咲徳栄 | 9 | 3 | 0 | 0 | 15 | 0 | +15 |
| 2 | 本庄第一 | 6 | 2 | 0 | 1 | 4 | 3 | +1 |
| 3 | 南稜 | 3 | 1 | 0 | 2 | 4 | 9 | -5 |
| 4 | 埼玉平成 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 13 | -11 |

※初優勝した花咲徳栄と準優勝の本庄第一は関東大会へ出場



花咲徳栄 vs 本庄第一



南稜 vs 埼玉平成



優勝 花咲徳栄高校

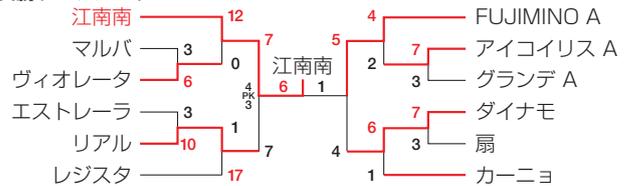
フットサル

バーモントカップ2017

第27回全日本少年フットサル大会埼玉県大会

6月10日～7月9日 くまがやドームほか

●決勝トーナメント



第14回全日本女子フットサル選手権大会2017埼玉県大会

7月29日、8月6日 宮代町総合体育館ほか

1回戦 Estrela NOVO川口 19-0 紋蔵庵

Aventura 9-1 デールさいたま

決勝 Estrela NOVO川口 3-2 Aventura

※優勝したEstrela NOVO川口は関東大会へ出場する

第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

8月26日、27日 幸手市総合体育館

| 順位 | チーム | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 差 |
|----|--------------|----|---|---|---|----|----|----|
| 1 | 白岡SCL | 9 | 3 | 0 | 0 | 16 | 7 | +9 |
| 2 | SEフィリアFC | 6 | 2 | 0 | 1 | 8 | 5 | +3 |
| 3 | 熊谷リリースカサブランカ | 3 | 1 | 0 | 2 | 9 | 13 | -4 |
| 4 | クマガヤSCライラック | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 | 12 | -8 |

※優勝した白岡SCLが関東大会へ出場する

大会記録●県外大会

1種

第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会・ラウンド16(4回戦)

9月20日

浦和レッズ 2-4 鹿島アントラーズ

筑波大学 0-2 大宮アルディージャ

1種・社会人

第24回全国クラブチームサッカー選手権大会関東大会

9月16日～18日 大井第二球場ほか

1回戦 南葛FC 1-0 ACアルマレッザ入間

※優勝は南葛FC

日本スポーツマスターズ2017 兵庫大会(サッカー競技会)

9月16日～19日 三木総合防災運動公園 陸上競技場ほか

グループD 鹿児島県O-35選抜 1-0 埼玉選抜OVER35

埼玉選抜OVER35 1-3 セレソン長野

埼玉選抜OVER35 2-1 久枝フットボールクラブ(愛媛)

※グループ3位。優勝は千葉選抜

2種・高体連

平成29年度全国高等学校総合体育大会

7月28日～8月4日 ユアテックスタジアム仙台ほか

1回戦 浦和西 2-1 東北学院

2回戦 昌平 1-2 日大藤沢

浦和西 0-5 京都橘

※優勝は流通経済大学柏



1回戦 浦和西 vs 東北学院



2回戦 浦和西 vs 京都橘



2回戦 昌平 vs 日大藤沢



浦和西高校



昌平高校

平成29年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第27回サッカー大会

8月4日～8日 清水ナショナルトレーニングセンターほか

| | | |
|------|-----------------|--------------|
| 1回戦 | 松栄学園 2-1 | クラーク記念国際名古屋 |
| | 鹿島灘 2-1 | 武蔵野星城 |
| 2回戦 | 松栄学園 5-1 | 神奈川総合産業 |
| 準々決勝 | 松栄学園 1-2 | 静岡中央 |

※優勝は世田谷泉

2種・クラブ

第41回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

7月23日～8月2日 味の素フィールド西が丘ほか

| | | |
|--------|------------------|---------|
| ●グループE | 浦和レッズ 3-2 | 湘南ベルマーレ |
| | 浦和レッズ 2-1 | 塩釜FC |
| | 浦和レッズ 0-0 | ヴィッセル神戸 |

※グループ1位でノックアウトステージへ

| | | |
|--------|------------------|----------|
| ラウンド16 | 浦和レッズ 3-1 | ガイナレ鳥取 |
| 準々決勝 | 浦和レッズ 2-1 | ガンバ大阪 |
| 準決勝 | 浦和レッズ 2-0 | モンテディオ山形 |
| 決勝 | 浦和レッズ 0-2 | FC東京 |

3種・中学

第48回関東中学校サッカー大会

8月6日～9日 ニッパツ三ツ沢球技場ほか

| | | |
|---------|----------------------|-----------------|
| 1回戦 | 板倉町立板倉 0-3 | さいたま市立土合 |
| | さいたま市立尾間木 2-5 | 富津市立富津 |
| 2回戦 | 暁星国際 1-0 | さいたま市立土合 |
| 第5代表決定戦 | さいたま市立土合 0-1 | 小山市立小山第三 |
| 第7代表決定戦 | さいたま市立土合 0-0 | さくら市立氏家 |

(6PK7)

第32回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

8月15日～24日

| | | |
|--------|----------------------|------------------|
| グループA | 大宮アルディージャ 1-0 | SSS(北海道) |
| | 大宮アルディージャ 3-2 | 東海スポーツクラブ |
| | 大宮アルディージャ 1-4 | ガンバ大阪 |
| グループI | F.Cuore(九州) 3-3 | 浦和レッズ |
| | FC東京U-15深川 1-1 | 浦和レッズ |
| | 浦和レッズ 7-1 | SQUARE富山FC |
| グループK | 坂戸ディプロマツ 2-0 | レノヴェンスオガサFC(東北) |
| | 坂戸ディプロマツ 2-2 | FC.フェルポール愛知 |
| | 坂戸ディプロマツ 0-0 | ガンバ大阪門真 |
| グループL | 北海道コンサドーレ旭川 2-6 | クマガヤSC |
| | ヴィッセル神戸 5-0 | クマガヤSC |
| | 名古屋グランパス 1-4 | クマガヤSC |
| ラウンド32 | Forza'02(関東) 0-1 | 浦和レッズ |
| | 坂戸ディプロマツ 0-1 | 大宮アルディージャ |
| | 三菱養和SC巣鴨 1-3 | クマガヤSC |
| ラウンド16 | 浦和レッズ 4-2 | 栃木SC |
| | 大宮アルディージャ 4-0 | セレッソ大阪 西U-15 |
| | クマガヤSC 3-2 | ガンバ大阪 |
| 準々決勝 | 浦和レッズ 2-1 | 大宮アルディージャ |
| | サガン鳥栖 3-0 | クマガヤSC |
| 準決勝 | 浦和レッズ 2-4 | サガン鳥栖 |

※優勝はサガン鳥栖

4種

2017フジパンCUP 第41回関東少年サッカー大会 in 栃木

8月18日～20日 那須塩原市青木サッカー場

| | | |
|-------|-------------------------|---------------|
| Cブロック | 江南南サッカー少年団 3-0 | カルペソール湘南 |
| | 江南南サッカー少年団 0-1 | 東京ヴェルディ |
| Eブロック | エクセレントフィートFC 2-1 | 高崎K2ビクトリーズFC |
| | エクセレントフィートFC 2-1 | FC日立 |
| Hブロック | CIレブン 0-4 | レジスタFC |
| | レジスタFC 3-1 | ともぞうSC |

●1位トーナメント

| | | |
|-----|-------------------------|---------------|
| 1回戦 | JACPA東京FC 0-2 | レジスタFC |
| | エクセレントフィートFC 0-0 | パディーSC |
| | | (5PK4) |
| 準決勝 | エクセレントフィートFC 0-3 | レジスタFC |
| 決勝 | Wings U-12 TOP 0-2 | レジスタFC |

※優勝はレジスタFC。3位にエクセレントフィートFC。2位トーナメントで江南南サッカー少年団が2位

4種・少女

第15回 8 都県少女サッカーフェスティバル

8月26日、27日 ひたちなか市新光町グラウンド

| グループA | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 得失差 |
|-----------|----|---|---|---|----|----|-----|
| 4位 熊谷リリーズ | 7 | 2 | 1 | 2 | 14 | 6 | +8 |

| グループB | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 得失差 |
|---------------|----|---|---|---|----|----|-----|
| 3位 宮原サッカーガールズ | 7 | 2 | 1 | 2 | 10 | 5 | +5 |

| グループC | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 得失差 |
|--------------|----|---|---|---|----|----|-----|
| 1位 戸南ボンバーズFC | 15 | 5 | 0 | 0 | 16 | 0 | +16 |

| グループD | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 得失差 |
|-------------|----|---|---|---|----|----|-----|
| 4位 戸塚FCガールズ | 6 | 2 | 0 | 3 | 2 | 6 | -4 |

| グループE | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 得失差 |
|--------------|----|---|---|---|----|----|-----|
| 3位 吉見エスカーラFC | 9 | 3 | 0 | 2 | 9 | 8 | +1 |

| グループF | 勝点 | 勝 | 分 | 負 | 得点 | 失点 | 得失差 |
|------------------|----|---|---|---|----|----|-----|
| 3位 狭山女子フットボールクラブ | 8 | 2 | 2 | 1 | 9 | 3 | +6 |

※戸南ボンバーズがグループCで優勝

女子

第39回関東女子サッカー選手権大会 兼 第39回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会関東地区予選

9月16日～30日 保土ヶ谷サッカー場ほか

| | | | |
|-----|---------------|--------|-------------------|
| 1回戦 | 神奈川大学 | 2 - 2 | 東京国際大学 |
| | | (6PK5) | |
| 2回戦 | 浦和レッズレディースユース | 0 - 0 | MITO EIKO FCレディース |
| | | (4PK5) | |
| | 日テレ・メニーナ | 2 - 1 | 尚美学園大学 |

※優勝は早稲田大学

シニア

第12回関東シニア(60歳以上)サッカー選手権大会

9月23日、24日 ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場

| | | | |
|-------|----------|-------|--------------|
| A組 | 埼玉シニア 60 | 4 - 0 | 富士吉田シニア 60 |
| | 群馬FC 60 | 1 - 0 | 埼玉シニア 60 |
| | 埼玉シニア 60 | 3 - 1 | とも丸シニアSC(栃木) |
| 順位決定戦 | 埼玉シニア 60 | 1 - 0 | Lazos2011 |



埼玉シニア60

フットサル

第13回全日本大学フットサル大会関東大会

7月8日、9日 館山運動公園体育館

| | | | |
|-----|--------|--------|--------|
| 1回戦 | 桐蔭横浜大学 | 10 - 6 | 大東文化大学 |
|-----|--------|--------|--------|

※優勝した順天堂大学と準優勝の多摩大学は本大会へ出場する

第4回全日本ユース(U-18)フットサル大会関東大会

7月15日、16日 笠松運動公園体育館

| | | |
|---------|--------|------|
| デールさいたま | 2 - 2 | 鹿島学園 |
| | (1PK2) | |

※優勝は矢板中央高校B。準優勝の鹿島学園、3位のフウガドルすみだファルコンズの3チームが本大会へ出場

バーモントカップ 第27回全日本少年フットサル大会

8月18日～20日 駒沢オリンピック公園体育館ほか

| | | | |
|---------|--------------------|-------|------------|
| ●1次ラウンド | グループL エスペランサ熊本U-12 | 3 - 8 | 江南南サッカー少年団 |
| | ディアプロッサ高田FC | 1 - 6 | 江南南サッカー少年団 |
| | ノザワナFC | 1 - 4 | 江南南サッカー少年団 |

| | | | |
|---------|------------|-------|------------|
| ●ラウンド16 | 江南南サッカー少年団 | 4 - 2 | Jフィールド津山SC |
| 準々決勝 | マルバ茨城fc | 5 - 4 | 江南南サッカー少年団 |

※優勝はピヴォ(静岡)

第12回全国ビーチサッカー大会関東大会

7月22日～30日 鹿嶋市平井海岸ビーチサッカー場

| | | | |
|--------|--------------|--------|--------------|
| ●1次リーグ | イフ レバンテB.S.F | 0 - 15 | 湘南スプレッド1545 |
| | ノーソックス東京BSC | 13 - 0 | イフ レバンテB.S.F |

※優勝は東京ヴェルディBSチーム

インフォメーション

●SMC サテライト講座開催予定

埼玉県サッカー協会では、1月20日(土)、21日(日)、27日(土)で「SMC サテライト講座」開催を予定しています。

スポーツ組織の運営に携わる方、スポーツ選手や指導者などを受講対象者とし、自立した魅力あるスポーツ組織づくりに必要な明確なビジョンを描く力、スポーツ組織の運営に必要なマネジメントの基本的な力を身につけます。

開催概要の詳細が決まり次第、公式ウェブサイトなどでご案内します。多くの皆様の受講をお待ちしております。

●白岡市が日本サッカー協会と相互協力協定を締結～JFAこころのプロジェクト～

10月4日、白岡市は日本サッカー協会とJFAこころのプロジェクト「夢の教室」実施に関わる協定を結びました。これにより、白岡市内に6校ある小学校にて小学5年生を対象とした「夢の教室」を行うことになりました。目標や夢を持つこと、それに向かって努力することの大切さを学んでほしいものです。



大仁邦彌・日本サッカー協会名誉会長と小島卓・白岡市長(右)

編集後記

浦和レッズ、大宮アルディージャ共になかなか落ち着かないようです。浦和レッズにはアジアチャンピオンを目指してほしいですし、大宮アルディージャには早くJ1残留を決めてほしいという願いは、皆さんと同じではないでしょうか。

さて、各種別でリーグ戦が終盤を迎えていると思います。それぞれ悲喜こもももというところかもしれません。1試合1試合の積み重ねではありますが、年間を通じてみたときに反省点が多く出てしまうのは

仕方ないことかもしれません。問題は、これからどうするかということです。前向きに、しかし現実的に、チームとして個人としてどうサッカーに取り組んでいくのかを考えること、よりよくしていくことを考えることが大事だと思います。

そのためにも自分たちの原点を振り返ることも必要です。最近「SF Aミッション」、ご覧になりましたか? お時間のあるときにぜひ一読してください。(荒川)